

小田青年團

發團式

小田炭礦青年團發團式は十六日午前九時好間村元山好樂館に開く筈で名士の講演、余興等がある。

模擬市會議員

人氣沸騰

本社の企劃にかゝる平模擬市會議員の投票締切りは愈々本月末日に迫つたので俄然人氣沸騰し一般ではすつと以前から持ちためてゐた投票を漸やく吐き出し初め十四日朝第一便では投票が約八百名位の東になつて舞ひ込んだのでその整理に轉手古舞ひを演じた程である。議員数は最初三十名の豫定であつたが市會々議場の都合で十七名に改めた。將來平市政を談する有爲の人として大方の人氣を集める十七名は果して誰れか。將に刮目に値する。

私の觀た

炭礦爭議批判(二)

佐藤 稔

▼左系分子の活動
山代氏は相當の教育もあり、殊に無産者の生活を改善する爲めに、労働運動をなし巖には大山都夫氏が主唱した政治研究会に關係してゐた事もある。思想家であり、實際運動家である山代が俄かに解雇されて黙つてゐる筈がない

投票

「模擬平市會議員」

用紙

で、君は忽ち對策を講ずる事となり本縣の労働運動者として郡山の田中利勝君と併稱される福島合同労働組合の渡邊義通君を招いて秘策を練つた渡邊君は共産系の主義者なので忽ち小野田坑を中心とする察人として警察の御厄介になつた。關東評議會と新人會とが、無産者青年同盟とか、黒色聯盟とかの極左分子が集つて、新戦術と云ふ名のもとに労働者のサボタージュを始めさせたのである。平署としては此の様な危険分子が尾行をまいて集つたので、直ちに本部を綴辭前の部長派出所に移して事件の悪化を妨ぐたため、危険分子の掃蕩に力を盡したのであつた。

坑夫組合の出動

極左分子の入り込んだ事を知つた坑夫組合では、現實主義に立脚して、運動並に爭議を共にする事を避けた。それは當然な事であつて若し極左分子と行動を共にすれば、世の冷笑を受け、また飯場頭の復讐を迫れば、坑夫組合の飯場廢止に關する主義綱領にもどるからであつて。當分は其の成行きを見る事になつた。然るに山代氏は、親代々の飯場頭で警備炭礦の労働者中で情實關係に結ばれた者が多く、それに極左分子が、巧みな宣傳と何千圓かの金を爭議資金だと言つて見せつけたので、坑夫組合に加入してゐる幹部の連中も動き出し始めた。そして爭議とも何んともつかない變態なサボタージュが一週



冬の情景!!!

静かに深みゆく
公園池畔に
御來遊あれ



店員大募集

十四才ヨリ十六才迄 五名

尋常小學校卒業以上

御希望ノ方ハ御來店願升

警城平町三丁目

中野吳服店

外事務員一名入用

印刷物は加納活版所

成田山大護摩修行團體募集

一、出立、解散
三月二十二日午前六時五十九分平驛發午後二時成田着翌二十三日早朝大護摩修行、午後十時頃成田解散
一、會費 金八圓五十錢也
但し片道汽車賃、車中晝食費、成田一泊諸費、大護摩修行費、箱札代、坊入諸費其他解散迄の諸費一切を含む
一、御申込 三月十五日迄
左記へ御申込被下度會費同時に御拂込の事
平町五丁目(電話六十六番)

爲信仰諸氏

大新榮講中諸氏には之を以て御通知に代ふ
井上貞治郎

イワキ食堂

美味で評判のイワキ食堂
實習日毎月十五日(家庭料理實習所)
電話四六〇番は

荆妻千代儀病氣中の處十二日午後八時十五分死去致候間此段謹告仕り候
追而葬儀は來る十七日午後一時自宅出棺光明寺に於て佛式に依り相替み申候
昭和二年三月十三日

親戚總代 高岡文唯
友 人 山崎國文
代 人 白井重三郎
安島博三郎

平町病院

內科 專門
腸胃 專門
十二指腸 專門
肝門病 專門

淋病 專門
婦人病 專門
包茎 專門
肛門病 專門

內科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
高久病院
院長 高久忠
平町 電話一三五

往診診察 診察無料
其 他 實費
平町實費病院
【番一五五話電】

原齒科醫院
平町土橋通り
電話三一三番

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
赤心堂病院
田町 電話四七五

入院隨意
上田外科醫院
南町 電話二九

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
電話一七〇番

産科婦人科
二月より診療開始
産婦人科部長
醫學士 野秋善直
尚ほ院長菊地博士は毎日午前九時から午後四時迄又何時でも往診します
菊地博士の住所
舊城跡三ノ丸(丹後澤)
城 共濟病院
看護婦至急募集す